

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所: グループホーム カムさあ  
 作成日 : 平成23年3月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現在、入居者9名に対し、要介護5の方が4名いらっしゃる状態。いずれの方も、カムさあでの看取り介護を希望されているため、この項目について、強化する必要がある。	ご本人・ご家族の意向をくみ取り、看取り介護が職員の経験となり、今後の介護に反映できるよう、不安の解消と落ち着いた対応が図れる。	①看取り介護に対する職員の不安点などを確認する ②過去の看取り事例からの学びを振り返る ③チームアプローチの学びを深め、支援体制の確立が図れるようにする	2ヶ月
2	34	前回は計画に記載した項目であるが、介護職員の緊急時に対する不安感は、常に付きまとう課題でもある。実践で如何に、対応できるか、職員は自問自答していると思われる。個々の課題を明確にし、実践力に繋げる必要がある。	個々の職員が、緊急時に適正な対応が図れ、慌てず、職務につくことができる。	①個々の職員の不安点・疑問点を明らかにする ②定期的な勉強会の開催を行う、実践に繋がるようにする	6ヶ月
3	52	平均介護度4.0であるため、生活環境を自らが整えることが出来ない状態である。そのため、職員が空間づくりを意識して行う必要がある。	どの時間帯でも、安定した空間づくりを提供することができ、ご入居の方が心地よく過ごすことができる。	①共有空間を皆でチェックし、職員自らが課題を見出すことのできる勉強会を開催する ②職員皆で話し合い、介護理念をつくり、実践する	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。